



自立して社会に貢献できる生徒の育成

南中だより



福山市立駅家南中学校

2025年(令和7年)

9月12日(金) NO.5

生徒集会で「あいさつ」について考えました！



2学期最初の生徒集会では、「あいさつ」について考えました。

はじめに、生徒会執行部が〇×クイズ形式で「あいさつ」に関する導入を行い、その後、インタビュー形式で団長を代表して幸田くん、男子バスケットボール部キャプテンの下江くんが意見を発表しました。幸田くんは「号令をかけるときには、みんなが堂々と大きな声を出せるよう、士気の高まる号令を心がけている」「学級でも、素の自分を安心して出せる雰囲気大切にできたので、あいさつの声も出しやすい」と、下江くんは「10月から体育館が使えなくなると聞き、普段当たり前だと思っている練習できる環境への感謝を込めて、練習の終わりには体育館にもあいさつをしている」と語ってくれました。

集会後は各学級に戻り、生徒一人一人が「あいさつ」について考え、ワークシートに記入しました。その内容はお昼の放送でも紹介されています。

こうした取組を通して、みんなの考えや意見を出し合いながら「八つの校風」をさらに確かなものにしています。全校生徒が「南中はあいさつのある学校だ！」と胸を張れるよう、一人一人ができることを実行していきましょう。

「目指せ 標準装備でイける自分」という視点

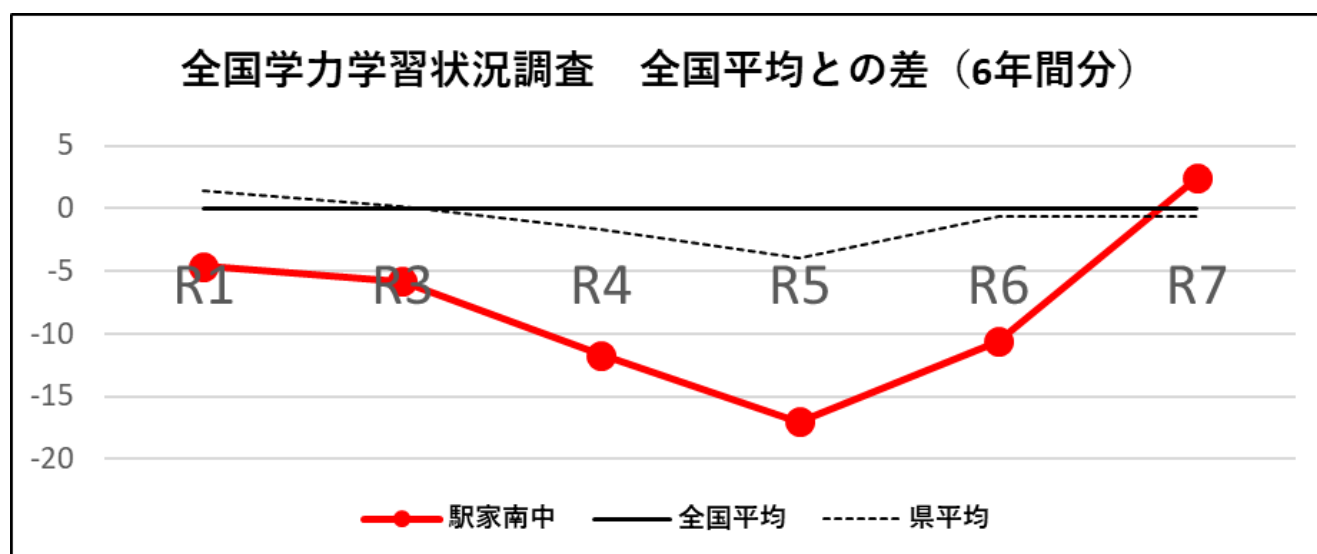
学級委員会では「服装・髪型の乱れた生徒のいない学校」を目指して、啓発ポスターを制作し、校内に掲示しています。その中に、とても素敵な視点をもった作品がありましたので紹介します。

多くの作品が「制服は正しく着ましょう！」「ルールやマナーを守りましょう！」といった呼びかけであるのに対し、この作品のメッセージは自分の内面に向けられています。服装の乱れを、ただ自分勝手に、「目立ちたい」「カッコつけたい」「オシャレだから」ととらえるのではなく、さみしさや劣等感の表れと考え、「短いスカートやピアス、茶髪などで自分を武装しなくても、自信を持って集団生活を送れる自分になろう」という応援のメッセージでした。

私たちが目指す「服装や頭髪の乱れない学校」とは、単に見た目をそろえることを目的としているのではありません。見た目で自分を武装しなくても、互いに認め合い、地道な努力を積み重ねる生徒へと成長できるように支援したい——そのような願いが込められています。



「全国学力・学習状況調査」で大きな成長を実感！



4月に全国の3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表され、本校の3年生の国語・数学の学力が大きく向上したことが明らかになりました。現在のテスト方式になってから6年目となりますが、初めて「全国平均」も「県平均」も上回る成果を収めることができました。これは、生徒たちが日々の授業を大切に積み重ね、たゆまぬ努力を続けてきた結果であり、学校全体の成長の証といえます。

上のグラフは、駅家南中と全国・県の平均との差を示したものです。これまで本校は全国平均を下回る状態が続いていましたが、令和7年度、今年の3年生はついにプラスに転じ、全国・県平均を超える結果を残すことができました。まさに「八つの校風」を取り戻すための地道な取組が実を結んだ成果です。

3年生は、昨年から学習に対する主体性を育むために、例年よりも早くセミナー学習を開始しました。また、通常は3年生になってから行う高校説明会を2年生の3学期に前倒しで実施し、早い段階から進路に対する意識を高めてきました。こうした取組は「自分の未来を自分で切り開く」という意識を育み、学びに向かう大きな力となりました。

さらに、定期テストに向けて、学級ごとに「学習時間と内容」を競い合いながら家庭学習を定着させてきました。その積み重ねが、生徒一人一人の学習習慣を形づくり、確かな学力へとつながっています。先生方もまた、生徒の力を最大限に伸ばすために、授業改善や指導の工夫を積み重ねてきました。まさに、生徒と先生が一体となって成し遂げてくれました。

この結果は、3年生が入学以来掲げてきた「南中を変えよう！（＝荒れの克服）」という思いの延長線上にあります。人を大切にし、授業を大切にし、行事に本気で取り組む。その積み重ねが、確かな力となり、「新しい南中文化の創造」へとつながっています。

そして今、2学期がスタートし、南中ライブに向けて、3年生が中心となって取組を進めています。準備の中で苦労することもあるでしょう。しかし、その一つ一つを乗り越えていく過程こそが「青春」であり、大きな「成長」につながります。

3年生は、11月に進路懇談があり、進路希望校を具体的に決定し、本格的な受験勉強に臨むこととなります。そして年明けには私立高校の入試が始まります。これから先、不安になったり、孤独な挑戦を感じたりする場面があるかもしれません。しかし、皆さんの周りには、これまで共に歩み、励まし合ってきた仲間と先生方がいます。どうかこれからも、仲間を信じ、自分を信じ、一步一步挑戦を続けてください。

1・2年生は、3年生が築いた南中の基盤を大切にしながら、自分たちの魅力を積み重ね、その先の挑戦に向けて力を養ってください。3年生からバトンを受け継ぎ、学校の主役となる日は、着実に近づいています。

